



## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月10日

上場会社名 株式会社IBJ 上場取引所 東  
 コード番号 6071 URL https://www.ibjapan.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石坂 茂  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 澤村 勇典 (TEL) 080 (7027) 0983  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	6,755	10.2	684	△10.5	619	△13.6	367	73.0
2020年12月期第2四半期	6,132	△17.9	764	△29.4	716	△35.2	212	△70.6

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 432百万円( 68.8%) 2020年12月期第2四半期 256百万円( △69.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	9.18	—
2020年12月期第2四半期	5.31	—

(注) 前連結会計年度末において、株式会社ZWEIとの企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行ったため、2020年12月期第2四半期は遡及適用後の数値となっております。詳細は添付資料の「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)に記載のとおりです。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第2四半期	12,575	5,807	43.1	135.48
2020年12月期	13,887	5,664	37.9	131.43

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 5,425百万円 2020年12月期 5,260百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末日時点における配当予想は未定であります。

## 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,248	16.7	2,074	28.0	1,966	29.6	1,134	65.3	28.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	42,000,000株	2020年12月期	42,000,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	1,955,106株	2020年12月期	1,971,552株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	40,034,984株	2020年12月期2Q	40,028,448株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、この四半期決算短信(添付資料)P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	11
(企業結合等関係)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の収束の時期などが不透明な状況が続き、一部地域においては複数回の緊急事態宣言の発出が行われました。同感染症の感染者数は一時的に減少したものの、再度増加しています。

当社グループにおきましても、新型コロナウイルス感染症による影響を受けておりますが、中期経営計画(2021年1月～2027年12月)である「成婚組数2.5万組」「加盟相談所数1万社」「お見合い会員数20万人」「マッチング会員数50万人」の達成に向けて、引き続き業容の拡大に努めました。

当第2四半期連結累計期間においては、加盟相談所数が2,800社を超えたほか、前連結会計年度にグループ会社となった株式会社ZWEIによる会員基盤強化などにより、お見合い会員数は71,000人を突破しました。他方で、パーティー事業は、度重なる緊急事態宣言の発出およびまん延防止等重点措置の公示などにより開催規模の縮小を余儀なくされましたが、同感染症の感染防止対策を徹底してパーティーを開催するなど、回復に努めたことにより、参加者数は前年同期比で増加しました。

なお、従来投資その他の資産の投資有価証券に記載しておりました一部の投資有価証券につきまして、投資区分の見直しを行い、第1四半期連結会計期間より、流動資産の営業投資有価証券として記載しております。また、前連結会計年度末において、株式会社ZWEIとの企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行ったため、2020年12月期第2四半期は遡及適用後の数値となっております。詳細は添付資料の「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)」に記載のとおりです。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,755,516千円(前年同期比10.2%増)、営業利益は684,315千円(同10.5%減)、経常利益は619,422千円(同13.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は367,401千円(同73.0%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりです。

#### <婚活事業>

当セグメントは、開業支援事業、加盟店事業、直営店事業、パーティー事業、アプリ事業により構成されています。

当第2四半期連結累計期間において、

- ・開業支援事業は、新型コロナウイルス感染症のため発出された緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置の公示の影響はあったものの、九州や東北、北陸地方においては新規の加盟相談所数が増加するなど、売上は堅調に推移しました。
- ・加盟店事業は、加盟店数が2,832社(前年同期比15.7%増)となり、登録会員数が71,000人を超えるなど順調に増加したことに伴い、売上も増加しました。
- ・パーティー事業も、新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、同感染症の感染防止対策を徹底してパーティー開催をしたことや、オンラインでのパーティー開催など回復に努めたことから、当第2四半期連結累計期間のパーティー参加者数は202,572名(前年同期比5.8%増)でした。
- ・アプリ事業は、当第2四半期連結累計会計期間末日の有料会員数が4万名(前年同期比10.6%減)と減少しましたが、アプリ会員限定の婚活パーティーを開催するなど、顧客満足の向上に努めました。

この結果、当セグメントの売上高は、6,178,499千円(前年同期比25.5%増)、セグメント利益は、1,179,269千円(同6.8%減)でした。

### <ライフデザイン事業>

当セグメントは、ウェディング事業、旅行事業、語学教室事業、不動産・住宅ローン事業、保険事業により構成されています。

当第2四半期連結累計期間において、

- ・株式会社IBJウェディングのウェディング事業は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、第1四半期連結会計期間に引き続きクライアントの広告費削減が相次ぎましたが、当社グループにおいて成婚者数が増加したことに伴い、式場送客組数は増加しました。

- ・株式会社かもめの旅行事業は、新型コロナウイルス感染症による諸外国における日本からの渡航者・日本人に対する入国制限措置等や外務省の発出する感染症危険情報の渡航中止勧告の継続により、海外旅行が引き続き不可能であり、概して休業状態を余儀なくされています。一方で、コストの見直しおよび削減等によりキャッシュアウトの抑制に努めました。

この結果、当セグメントの売上高は、577,017千円(前年同期比52.2%減)、セグメント損失は、11,716千円(前年同期のセグメント損失は41,292千円)でした。

## (2) 財政状態に関する説明

従来投資その他の資産の投資有価証券に記載しておりました一部の投資有価証券につきまして、投資区分の見直しを行い、第1四半期連結会計期間より、流動資産の営業投資有価証券として記載しております。また、前連結会計年度末において、株式会社ZWEIとの企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行ったため、2020年12月期第2四半期は遡及適用後の数値となっております。詳細は添付資料の「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)」に記載のとおりです。

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は7,245,867千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,339,487千円減少しました。これは主に、現金及び預金が1,913,907千円減少したほか、営業投資有価証券が411,707千円、その他の流動資産が148,955千円増加したためです。固定資産は5,329,278千円となり、前連結会計年度末に比べ26,878千円増加しました。これは主に、建物が134,298千円、繰延税金資産が46,751千円、投資有価証券が30,728千円、差入保証金が28,357千円増加したほか、のれんが146,512千円、関係会社株式が33,021千円、長期貸付金が84,759千円減少したためです。

この結果、総資産は、12,575,146千円となり、前連結会計年度末に比べ1,312,609千円減少しました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は4,218,067千円となり、前連結会計年度末に比べ、2,646,010千円減少しました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が24,320千円、未払法人税等が89,417千円増加したほか、未払金が154,825千円、短期借入金が2,600,000千円減少したためです。固定負債は2,549,100千円となり、前連結会計年度末に比べ1,190,074千円増加しました。これは主に長期借入金が1,164,500千円増加したためです。

この結果、負債合計は、6,767,168千円となり、前連結会計年度末に比べ1,455,935千円減少しました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は5,807,977千円となり、前連結会計年度末に比べ、143,326千円増加しました。これは主に、利益剰余金が127,230千円、その他有価証券評価差額金が21,406千円増加したためです。

この結果、自己資本比率は、43.1%(前連結会計年度末は37.9%)となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて1,740,432千円減少し、4,213,226千円でした。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は次のとおりです。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により得られた資金は、210,425千円(前年同四半期連結累計期間に得られた資金は181,196千円)でした。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益645,349千円、減価償却費151,822千円、のれん償却費146,512千円、持分法による投資損失74,314千円などです。主な減少要因は、たな卸資産の増加額406,607千円、未払金及び未払費用の減少額147,514千円、法人税等の支払額による支出169,943千円、などです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により使用した資金は、231,943千円(前年同四半期連結累計期間に使用した資金は2,077,925千円)でした。主な要因は、有形固定資産の取得による支出218,964千円、無形固定資産の取得による支出69,189千円、投資有価証券の売却による収入61,984千円などです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により使用した資金は、1,718,913千円(前年同四半期連結累計期間に得られた資金は2,412,340千円)でした。主な要因は、短期借入金の増減額2,600,000千円、長期借入金の返済による支出511,180千円、長期借入れによる収入1,700,000千円などです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響に関する見積りおよび判断につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (追加情報) (新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)」をご参照ください。

また、当第2四半期連結会計期間末日および本書公表日現在におきまして、2021年12月期の通期連結業績予想については変更がございませんが、今後の状況の変化などにより公表すべき事実が発生した場合には、遅滞なくお知らせします。

なお、将来予測などについては、新型コロナウイルス感染症の拡大や収束時期等の見積りは不確定要素が多いため、実際の結果と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,937,133	4,023,226
売掛金	1,267,201	1,289,119
営業投資有価証券	996,377	1,408,085
商品及び製品	10,677	7,934
仕掛品	3,797	3,811
原材料及び貯蔵品	4,378	2,006
前渡金	8,899	9,197
前払費用	214,979	242,527
未収還付法人税等	32,145	28
1年内回収予定の長期貸付金	2,117	2,917
その他	110,271	259,226
貸倒引当金	△2,623	△2,214
流動資産合計	8,585,355	7,245,867
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,167,609	1,306,006
減価償却累計額	△530,310	△534,409
建物(純額)	637,298	771,597
車両運搬具	19,848	25,562
減価償却累計額	△13,494	△10,837
車両運搬具(純額)	6,354	14,725
工具、器具及び備品	742,723	748,342
減価償却累計額	△676,907	△671,139
工具、器具及び備品(純額)	65,816	77,203
リース資産	70,257	36,585
減価償却累計額	△58,066	△7,845
リース資産(純額)	12,191	28,739
有形固定資産合計	721,660	892,266
無形固定資産		
のれん	2,168,681	2,022,168
ソフトウェア	282,793	279,983
ソフトウェア仮勘定	24,078	30,476
その他	2,461	2,461
無形固定資産合計	2,478,014	2,335,090
投資その他の資産		
投資有価証券	501,842	532,571
関係会社株式	35,708	2,687
長期貸付金	123,299	38,539
保険積立金	231,496	231,003
繰延税金資産	119,202	165,954
差入保証金	1,084,092	1,112,449
その他	7,083	18,715
投資その他の資産合計	2,102,725	2,101,921
固定資産合計	5,302,400	5,329,278
資産合計	13,887,756	12,575,146

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	53,184	42,737
短期借入金	3,810,000	1,210,000
1年内返済予定の長期借入金	433,360	457,680
未払金	711,770	556,944
未払費用	464,863	467,390
未払法人税等	203,257	292,674
未払消費税等	130,054	111,933
前受金	903,225	911,617
リース債務	3,469	7,669
賞与引当金	29,651	34,811
返品調整引当金	5,991	266
ポイント引当金	15,943	14,459
その他	99,306	109,882
流動負債合計	6,864,078	4,218,067
固定負債		
長期借入金	742,250	1,906,750
リース債務	10,337	23,081
退職給付に係る負債	67,027	64,062
資産除去債務	539,410	555,207
固定負債合計	1,359,025	2,549,100
負債合計	8,223,104	6,767,168
純資産の部		
株主資本		
資本金	699,585	699,585
資本剰余金	776,984	784,490
利益剰余金	4,660,725	4,787,956
自己株式	△1,007,719	△999,338
株主資本合計	5,129,575	5,272,693
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,287	152,693
その他の包括利益累計額合計	131,287	152,693
新株予約権	634	634
非支配株主持分	403,154	381,956
純資産合計	5,664,651	5,807,977
負債純資産合計	13,887,756	12,575,146



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	6,132,573	6,755,516
売上原価	815,714	208,556
売上総利益	5,316,858	6,546,959
返品調整引当金繰入額	-	5,376
返品調整引当金戻入額	321	-
差引売上総利益	5,317,179	6,541,583
販売費及び一般管理費	4,552,929	5,857,267
営業利益	764,250	684,315
営業外収益		
受取利息	222	130
受取配当金	135	3,835
還付消費税等	3,109	0
投資事業組合運用益	64	9,374
その他	1,557	2,713
営業外収益合計	5,089	16,054
営業外費用		
支払利息	4,524	6,461
持分法による投資損失	47,817	74,314
その他	144	170
営業外費用合計	52,486	80,946
経常利益	716,853	619,422
特別利益		
固定資産売却益	-	1,390
投資有価証券売却益	-	43,909
受取補償金	6,390	49,780
その他	-	13,263
特別利益合計	6,390	108,344
特別損失		
固定資産除却損	6,819	9,565
投資有価証券評価損	99,999	-
減損損失	23,697	21,089
店舗閉鎖損失	34,816	3,636
新型コロナウイルス感染症による損失	110,792	48,126
その他	991	-
特別損失合計	277,118	82,418
税金等調整前四半期純利益	446,125	645,349
法人税、住民税及び事業税	166,011	290,882
法人税等調整額	15,993	△56,199
法人税等合計	182,004	234,682
四半期純利益	264,121	410,667
非支配株主に帰属する四半期純利益	51,739	43,265
親会社株主に帰属する四半期純利益	212,382	367,401

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	264,121	410,667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,085	21,406
その他の包括利益合計	△8,085	21,406
四半期包括利益	256,035	432,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	204,296	388,808
非支配株主に係る四半期包括利益	51,739	43,265

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	446,125	645,349
減価償却費	112,541	151,822
減損損失	23,697	21,089
のれん償却額	128,852	146,512
長期前払費用償却額	1,404	1,375
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△732	△409
賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,376	5,159
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△12,897	△5,725
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	29,441	-
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△3,612	△1,484
受取利息及び受取配当金	△357	△3,965
支払利息	4,524	6,461
持分法による投資損益(△は益)	47,817	74,314
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△43,909
投資有価証券評価損益(△は益)	99,999	-
固定資産除却損	6,819	9,565
投資事業組合運用損益(△は益)	64	△9,374
売上債権の増減額(△は増加)	110,980	△15,841
前渡金の増減額(△は増加)	76,411	△297
預け金の増減額(△は増加)	△598	△4,720
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,562	△406,607
仕入債務の増減額(△は減少)	△105,705	△10,446
前受金の増減額(△は減少)	△218,965	15,652
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	39,721	△147,514
その他	△7,847	△45,842
小計	736,748	381,163
利息及び配当金の受取額	705	4,758
利息の支払額	△7,365	△5,553
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△548,891	△169,943
営業活動によるキャッシュ・フロー	181,196	210,425
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△16,009	△218,964
無形固定資産の取得による支出	△64,884	△69,189
投資有価証券の取得による支出	△102,590	△15,000
投資有価証券の売却による収入	-	61,984
貸付金の回収による収入	55,800	52,665
敷金及び保証金の差入による支出	△10,175	△63,722
敷金及び保証金の回収による収入	11,172	35,458
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,943,090	-
保険積立金の解約による収入	-	2,181
その他	△8,143	△17,356
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,077,925	△231,943

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	3,104,000	△2,600,000
長期借入れによる収入	105,000	1,700,000
長期借入金の返済による支出	△274,930	△511,180
配当金の支払額	△360,256	△240,178
非支配株主への配当金の支払額	△128,465	△64,463
その他	△33,007	△3,092
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,412,340	△1,718,913
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	515,611	△1,740,432
現金及び現金同等物の期首残高	4,385,400	5,953,658
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	108,534	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,009,547	4,213,226

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響を会計上の見積りに反映するにあたり、当社グループは、前連結会計年度の有価証券報告書において、2021年春ごろから感染拡大が緩やかになり始め、2021年秋ごろに収束するシナリオを想定しておりました。

第2四半期連結会計期間末においては、当該感染症の影響は想定より長期化しており、今後の収束時期などの予測は困難な状況であります。

当社グループにおいては、長期化の影響により、当初の想定と異なり一部事業においては売上高等の業績に影響を及ぼしているものの、当該感染症のワクチンの普及などの対策が進むことにより、今後緩やかに収束に向かうものと仮定を変更しております。

なお、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性の検討などの当社グループの会計上の見積りについて、上記仮定の変更に伴う重要な変更はありませんが、当該感染症の拡大の度合いや収束の時期などの見積りには不確実性を伴うため、実際の結果はこれらの仮定と異なる可能性があります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	婚活事業	ライフデザイン 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,924,853	1,207,719	6,132,573	-	6,132,573
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	-	3,600	3,600	△3,600	-
計	4,924,853	1,211,319	6,136,173	△3,600	6,132,573
セグメント利益 又は損失(△)	1,265,812	△41,292	1,224,519	△460,269	764,250

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△460,269千円には、セグメント間取引消去149千円、各報告セグメントに配分していない全社費用460,120千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。
3. 前連結会計年度末において、株式会社ZWEIとの企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行ったため、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報等の記載額について、「四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しを反映させています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

婚活事業において20,077千円、ライフデザイン事業において3,620千円の減損損失を計上しています。

(のれんの金額の重要な変動)

婚活事業において、株式会社ZWEIの株式の取得に伴い、前第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めています。なお、当該事象によるのれんの増加額は、前第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していなかったため、暫定的に算出された金額として1,591,799千円としていましたが、前連結会計年度末において、株式会社ZWEIとの企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行ったため、のれんの金額が1,591,799千円から161,219千円増額し、1,753,018千円となっています。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	婚活事業	ライフデザイン 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,178,499	577,017	6,755,516	-	6,755,516
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	354	40	395	△395	-
計	6,178,853	577,058	6,755,912	△395	6,755,516
セグメント利益 又は損失(△)	1,179,269	△11,716	1,167,553	△483,238	684,315

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△483,238千円には、セグメント間取引消去△2,400千円、各報告セグメントに配分していない全社費用485,638千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

ライフデザイン事業において、21,089千円の減損損失を計上しています。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

前第2四半期連結会計期間に実施した株式会社ZWEIとの企業結合について前第2四半期連結会計期間、前第3四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しています。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第2四半期の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映された結果、暫定的に算定されたのれんの金額は1,591,799千円から161,219千円増加し、1,753,018千円となりました。

また、この結果、前第2四半期の四半期連結貸借対照表は、のれんが159,427千円増加、退職給付に係る負債が663千円減少、資産除去債務が159,984千円増加しています。また、同四半期連結損益計算書は、のれん償却費が1,791千円増加、退職給付費用が1,897千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益、親会社株主に帰属する四半期純利益がそれぞれ106千円増加しています。